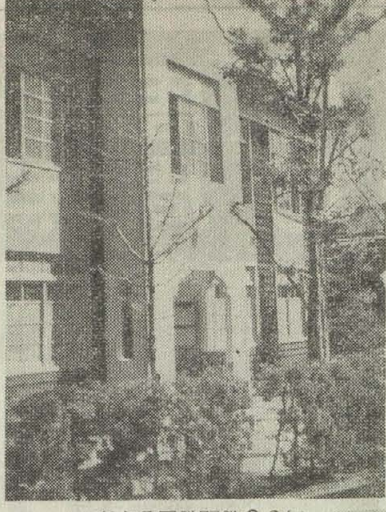


市庁舎本館落成26年

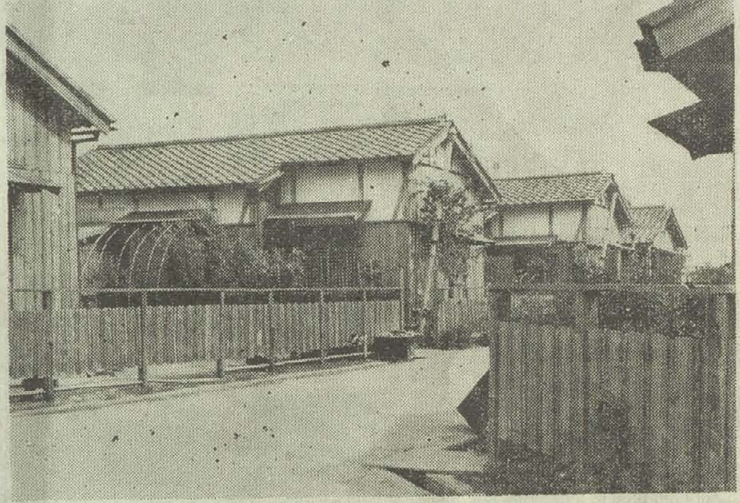


市立公民館開館26年

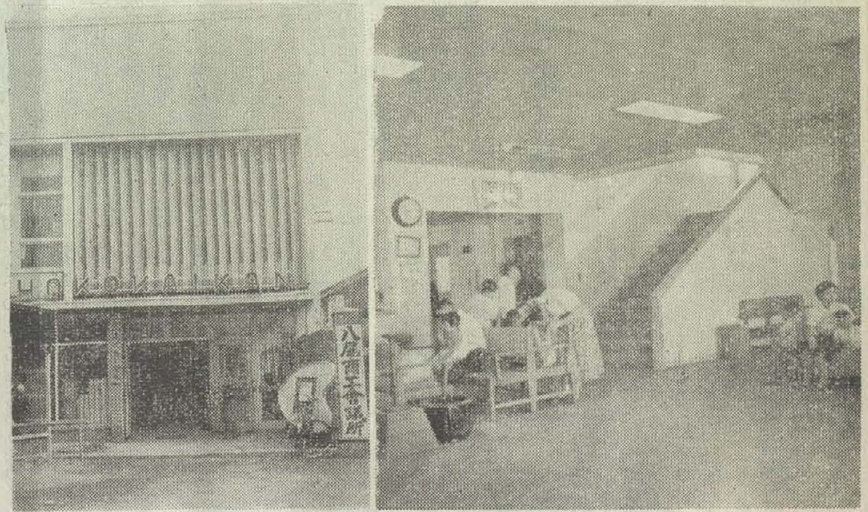
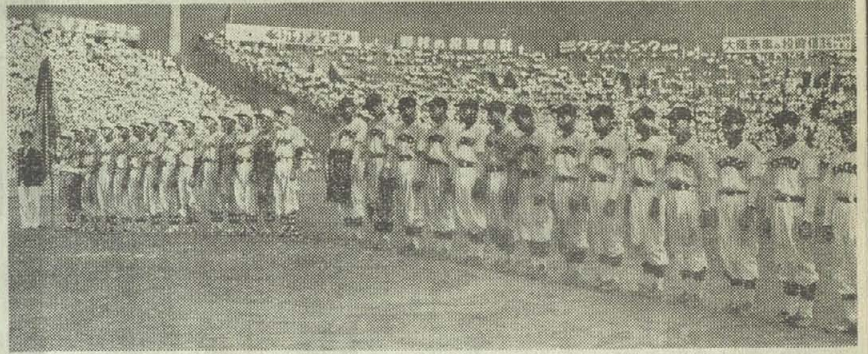


のあゆみ

10年の主な思い出を写真で特集しました。



市立西郷保育所開所26年(上)
第一回市営住宅建設27年(左)
全国高等学校野球大会で八尾高準優勝27年(下)



市立商工会館開館27年

市立病院本館完成28年(内部待合所)

概要

当市は昭和三十三年四月一日、旧八尾町、童華町、久宝寺村、大正村、西郷村の五カ町村が合併して府下十四番目の都市として誕生しました。

市発足当時は人口六四、四三二、面積一九・二九平方町の都市でしたが、以来東大阪の中核都市として戦後の激変する政治、経済、社会のきびしい状況をよく克服し、均衡財政を維持しつつ、住民の福祉の増進にたゆまぬ努力を続けてきました。

この間昭和三十年二月には隣接の河内市との境界変更により、旧三野郷村の徳万寺、上之島の西地区を編入し、続いて同年四月市発足当初からの念願であった旧南高安町、高安村、畔川村の三カ町村を合併し、人口九四、八六三、面積三七・四五平方町を有する府下第七位の都市となりました。

続いて昭和三十二年四月に河内内郡の旧志紀町を合併し、人口一〇八、四〇九、面積四一・〇五平方町を有する府下の中核都市となりました。現在には新市建設五カ年計画に基づき「観光と住宅と産業」を併せもつ理想的な都市建設を目的に各種の建設事業を推進して進めています。

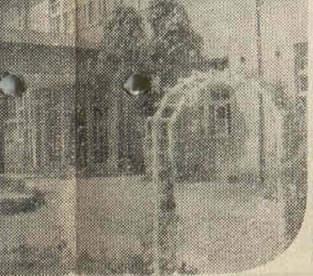
市の施設には府下のA級病院である市立病院を中心に、周辺地区には診療所を設け、公益質舗、保育所、母子寮、養老院などの社会

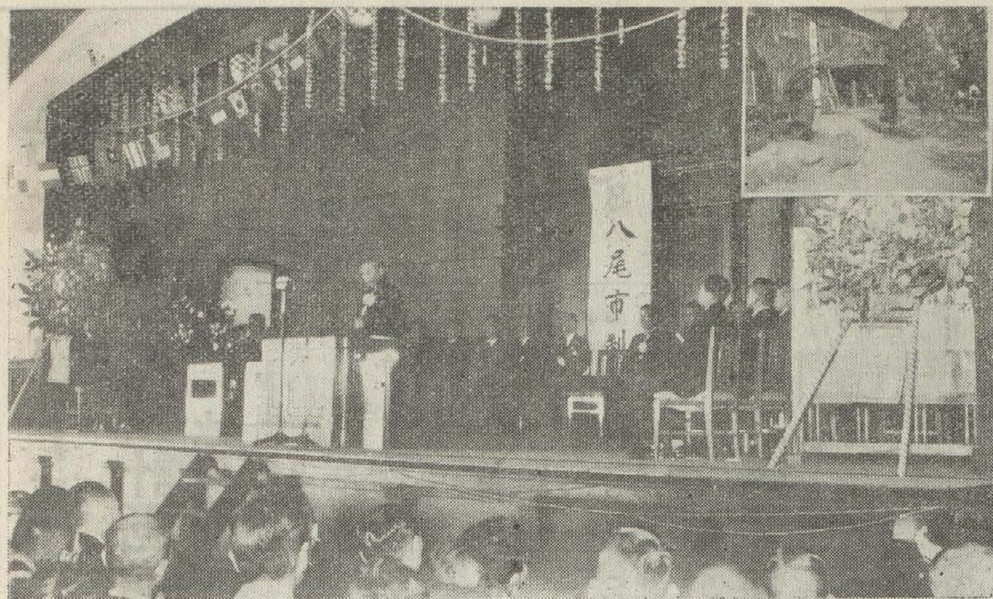


市立養老院開院28年(前庭でのいこい風景) 三カ町村合併式典(左上)と同調印(左下)30年



阪神飛行場地区日米合同委員会発足28年 久宝寺中学校外三輪堂建設29年(下) 高松の市立病院を視察29年(左)





市制施行記念式典と旧庁舎23年

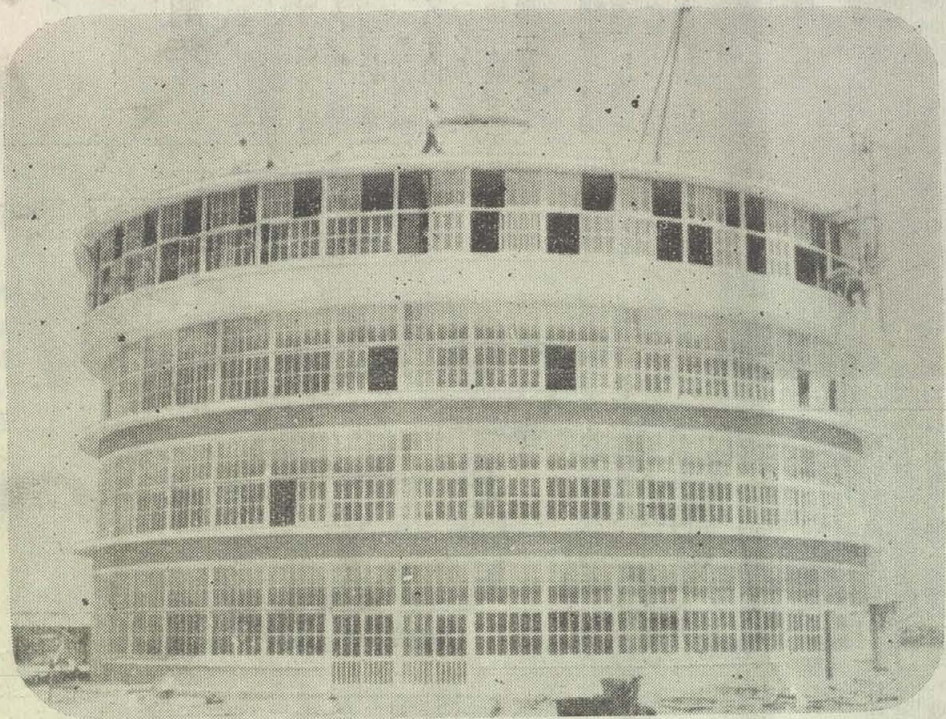


市警察署落成24年

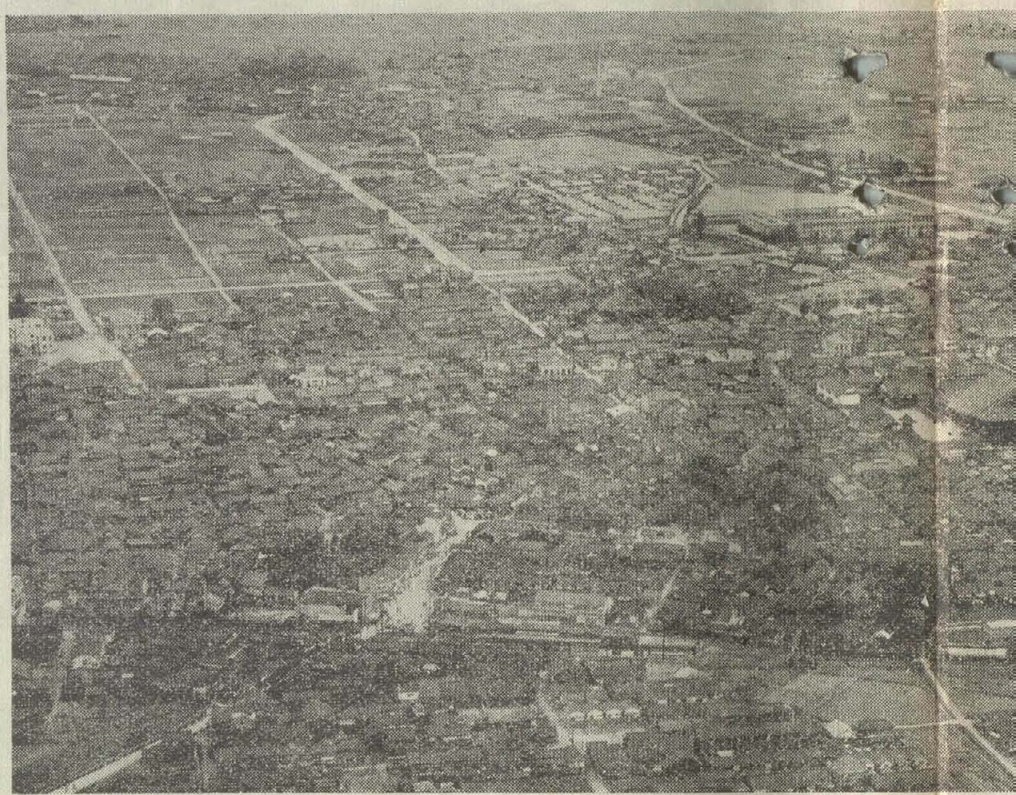


消防署落成25年

10年の



九分通り完成した曙川中学校33年



豊瀬川改修工事始まる32年(右)
田原南山本小学校開校32年(左)



志紀町との合併成立32年(下)

上段右から市立山本球場開き31年
八尾空港まつり32年、信貴山ケー
ブル復旧32年 下段、組合立伝染
病院31年完成(右) 電話自動式に
切替32年(左)

市の施設には府下のA級病院である市立病院を中心に、西初地区には診療所を設け、公益質館、保育所、母子寮、養老院などの社会福祉施設も充実している。一方市立の学校は小、中併せて三五校と清友高校があり、公民館、野球場、農業会館も整備されています。市の発展を図るためには住宅地の造成、工場誘致などにも努めると共に、信貴山ケーブルの復活と相まって、本年四月金剛生駒園定公園の指定区域に包含されている高安山一帯の開発に着手し、東大阪のレクリエーションセンターの建設を進めています。これらの施設と共に市の南部には全国初の民間空港「八尾飛行場」が、西部工業地帯には関西本線の電車操車場東部山麓には近鉄高安工場があり、市内を縦横に走る道路網には大阪市バス、近鉄バスが走り、今日一日からは八尾一吹田をつなぐ国鉄バスもこれに加わるなど、市の発展に大きな役割をはたしています。

写真説明「総合開発計画が進められている高安山を背景に建設された住宅(右)と昭和二十七年撮影の市街中心部(右に廟前の大仏寺が眺められる)(左)

